

様式2(施策)

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

・本県においては人口当たりのボランティア数が全国と比べても低い水準にあることから、ボランティア人材の育成・確保を図るため、ボランティアコーディネーターの認知度向上が必要である。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

・ボランティア・市民活動が社会に広がり、活動する場も多様化している中で、ボランティアニーズに専門的に対応するボランティアコーディネーターの役割はますます重要になってきており、ボランティアを行う者の技術水準を客観的な指標で示す必要がある。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

・ホームページやメールマガジンによる周知によりボランティアコーディネーターの認知度向上を図り、ボランティア人材育成、確保を促進する。
・ボランティアの技術水準の向上を図るため、平成25年度からボランティアコーディネーションカ3級検定試験を実施する。